

10番 柴立豊子 議員

1 新型コロナウイルス感染症への今後の対策について

- (1) PCRなどの検査の機器を導入し、鹿屋市医師会と協力して検査数を拡充する考えはないか。
- (2) 感染者が発生すれば重症化しやすい人たちが多くいる医療、介護施設、学校、保育園など人が多く集まるところで、大規模に検査を行う考えはないか。
- (3) 検査を広範囲に増やすことで、風評被害が防げると考えるがどうか。

2 コロナ禍の中の学校生活について

- (1) ソーシャルディスタンスを保つ場合、1教室何名となるか。  
また、本市にはそれを超える教室はどれだけあるか。
- (2) 教室での密を避けるために少人数学級にしていく考えはないか。

3 柔軟な避難所開設について

- (1) がけ崩れのように場所が限定されるような災害の場合、避難所の開設を依頼することはできないのか。
- (2) 分散避難を行えるように、日頃の自主防災組織との連携が急がれるが、どういう手立てをとるのか。
- (3) 地域の公民館などを避難所として使用できるように整備していく必要があると考えるがどうか。

10番 柴立豊子 議員

4 地域の交通安全について

- (1) 本市における交通事故の件数はどのように推移しているか。
- (2) 一時停止などの標識を設置したことにより事故が増えた交差点があるのか。また、そのような所には他にどのような方法が有効と考えるか。
- (3) 事故が多発する場所の把握はどのようにされているか。
- (4) 事故多発地には、早急な安全対策を講ずるべきと考えるがどうか。